



証券コード:3501

第134期 報告書

2022年6月1日 ▶ 2023年5月31日

SUMINOE REPORT

CONTENTS

トップメッセージ	1
ハイライト	5
連結財務諸表	6
事業概況	7
特集	9
トピックス	11
ガバナンス	13
株式情報	14



住江織物株式会社

Suminoe Textile Co., Ltd.

トップメッセージ

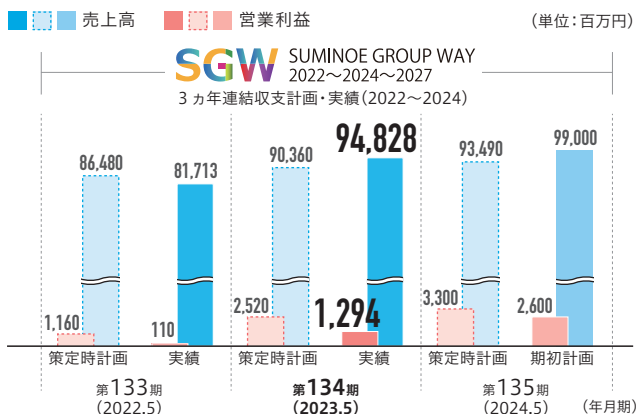
「SUMINOE GROUP」としてシナジー効果を発揮し
さらなる革新に挑戦していきます代表取締役社長
永田 鉄平

当期(2023年5月期)の業績

当連結会計年度におけるわが国経済は、特に下期においてウィズコロナに向けた社会経済活動の正常化が進んだことで、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方で、原材料およびエネルギー価格の高止まりや部品供給不足が続くとともに、急激な為替変動リスクなども懸念されることから、先行きは依然として予断を許さない状況にあります。当社グループに関連するインテリア業界においては、新設住宅着工戸数および非住宅分野の着工床面積とも前期を下回りました。自動車業界においては、中国市場で新型コロナウイルス感染症の行動制限措置や、電気自動車の普及拡大の影響を受け、日系自動車の生産状況が低調となったものの、それ以外の国内外市場では半導体・部品供給不足が緩和されたことにより生産が増加に転じました。そうしたなか、最終的な当社グループの当期連結業績は、売上高948億28百万円(前期比16.0%増)、営業利益12億94百万円(前期は営業利益1億10百万円)、経常利益15億75百万円(同65.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3億20百万円(同14.0%増)となりました。

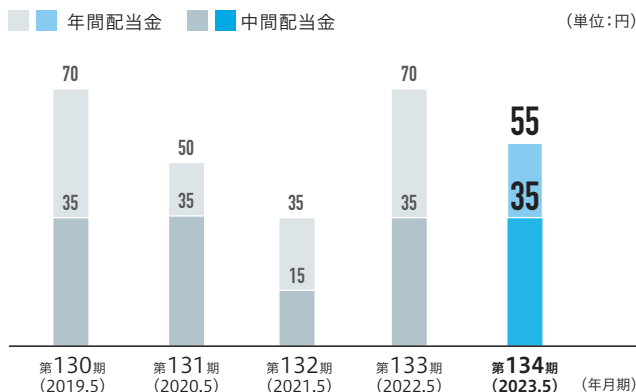
利益面では外部環境の影響を受け、期初計画には届きませんでした。価格改定による効果も発現しつつあり、また同時に、前期から引き続き「成長のための種まき」を着実に行うことができた意義ある1年でした。

連結数値の推移



インテリア事業では、子会社化した株式会社シーピーオーと株式会社プレテリアテキスタイルの2社が売上増加に貢献しました。既存事業とのシナジー効果も現れており、空間全体の設計・デザインを行うスペース デザイン ビジネスの領域拡大にもつながっています。自動車内装事業では、非繊維商材の技術開発と受注拡大に注力するなか、2024年6月の量産開始を目指し、メキシコで合成皮革製造工場の新設に着手しています。車両内装事業では、2022年7月に関織物株式会社を子会社化し、生産能力の拡大と新たな市場獲得につなげました。機能資材事業では、中国工場からベトナム工場への繊維系暖房商材の生産移転が2022年5月期で完了し、当期はベトナム工場に生産集約したことでコスト削減ができました。生産と同時進行で不織布製造設備の導入も計画どおり実行し、本格稼働を開始しました。

配当金



2024年5月期に向けた主な取り組み

自動車・車両内装事業においては、懸案事項であった北米子会社の黒字化の目処が立ち、日系自動車メーカーの生産台数の回復および鉄道・バス関連での内装材需要のコロナ禍からの立ち直りも見込まれます。またインテリア事業での堅調な受注見込みに加え、原材料・エネルギー価格の転嫁も進むことなどから、利益面は大幅に改善する計画としています。

なかでも現在新設中のメキシコ工場の合成皮革製造ラインを軌道に乗せることにより、北米子会社とともに、より強固な供給体制の構築を実現します。当社グループは、フロアカーペット・マット・シート・天井材などの自動車内装材をトータルで提供できる、世界でも稀有なサプライヤーです。その強みを大いに発揮し、北中米を中心に世界規模でのビジネスをさらに推し進めていきます。

2024年5月期の数値計画は、売上高990億円、営業利益26億円、経常利益27億円、親会社株主に帰属する当期純利益13億円としています。

住江織物グループから 「SUMINOE GROUP」へ

住江織物創業から2023年で140年を迎え、国内外を合わせて30社のグループとなるまでに成長拡大しました。グループとしての一体感を高め、よりシナジー効果を発揮していきたいとの思いから、「SUMINOE GROUP」として新たな一歩を踏み出しました。アルファベット表記にすることでグローバルでの認知度向上にもつなげ、伝統的な手織緞通や緞帳などの技術継承をしながらも、先駆者として革新を続け新規領域の開拓に挑戦していく意気込みも表しています。トレードマークであるタツノオトシゴも現代風にリデザインし、「あらゆる空間に、イノベーションを。」というタグライン、さらに、MISSION【わたしたちが果たすべき使命】「くらしに寄り添う技術とアイデアで人と社会にやさしい空間を世界中へ。」をはじめとするグループ理念も新たに策定しました。伝統と革新の両輪から未来に挑戦するSUMINOE GROUPのブランド価値を高め、MISSIONを果たし、VISION【わたしたちの目指す未来】を実現すべくグループ一体となって前進していきます。

→詳しくは[P.9特集]をご覧ください。

また、SUMINOE GROUPをよりよい会社にしていくには、経営と社員とが双方向で「想い」をつなぐことが重要と考え、

住江織物株式会社の若手社員からベテラン社員までの各年代と直接意見交換を行う「ツナグ座談会」を実施しました。今後、グループ会社での展開を進めるとともに、より社員の幸せにつながる職場づくりや、個々の能力開発の機会充実につなげていきたいと考えています。

さらに「ツナグ輪—ケーション」として、事業部門間やグループ会社間で技術やアイデアを共有、連携する取り組みも開始し、デザイン職・営業職のグループ横断型の交流会を開催しました。こちらも引き続きさまざまな部門・職種にて展開し、SUMINOE GROUPの力を結集した当社グループならではの技術・製品の開発につなげていきます。

ESG への取り組み

SUMINOE GROUPは、約50年前に排水と煤煙処理に配慮した無公害型の奈良工場を建設するなど、半世紀以上前から環境への取り組みに注力しています。2022年5月期に再編を完了し生まれ変わった奈良工場は、今後太陽光発電システムを導入するなど、さらなる環境配慮への取り組みを継続していきます。

「K(健康)K(環境)R(リサイクル)+A(アメニティ:快適さ)」という開発の基本理念のもと、メーカーの社会的責任として自社製品による環境負荷低減にも取り組んでいます。それを代表する水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」においては、2022年10月に『令和4年度資源循環技術・システム表彰』で「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞しました。これは、回収・再資源化事業の育成や、リサイ

クル業者の支援などにまで踏み込み、建築資材であるタイルカーベットの循環環境システムを構築し、産業廃棄物削減に寄与したことが評価されたものです。また、たゆまぬ技術革新により、当期に再生材比率が国内最高水準の81%※を実現した新シリーズ「ECOS NEO™(エコス ネオ)」を発表しました。このシリーズの一部には、住江テクノ株式会社滋賀工場製の国内廃漁網再生糸「SEACLE(シークル)」をパイル糸に使用した製品もあります。

TCFD提言への賛同も表明し、今後は2°C・4°Cケースのシナリオ分析に基づいて特定した気候関連リスク・機会を事業戦略・リスク管理へ反映するとともに、TCFD提言が推奨する開示項目に沿って適切に情報を開示していきます。

※ ECOS NEO™ EX の場合。2023年3月現在自社調べ。

ガバナンスのさらなる強化

取締役会の実効性評価など、引き続きガバナンスの強化にも取り組んでいます。コロナ禍で中断していた「歩き回る経営」についても、モノづくりの会社として、現場現物主義を貫き、トップ・役員自らが現場を訪問し、従業員と直接対話する機会が重要という考えのもと再開しており、2023年5月期はベトナムや北米など海外子会社へも足を運びました。今後、生産・管理体制の強化を進めていく上で、現地マネージャーのさらなる育成にも力を入れていく予定です。

2018年から進めている基幹システム再構築プロジェクトも順調に進展しています。モノ、資金の流れをリアルタイムに見える化してきたことで、各海外子会社の経営状態の透明性



も高まってきており、ガバナンスはもちろん競争力の強化にもつながっています。あと2年ほどで、ほぼすべてのシステム移行が完了する見込みで、引き続き取り組んでいきます。

株主のみなさまへ

当社は、東証の新市場区分について「プライム市場」を選択しています。算定基準日である2022年12月31日時点で「1日平均売買代金」については基準を充たしたことから、まだ充たせていない上場維持基準は「流通株式時価総額」のみとなりました。2024年5月31日までにすべての上場維持基準を充たすために、引き続きSUMINOE GROUPとして企業価値向上に取り組んでいきます。また、機関投資家向けに加え、個人投資家に向けても説明会を開催するなど情報発信にも努め、国内外での当社の認知度と信頼性を高めています。

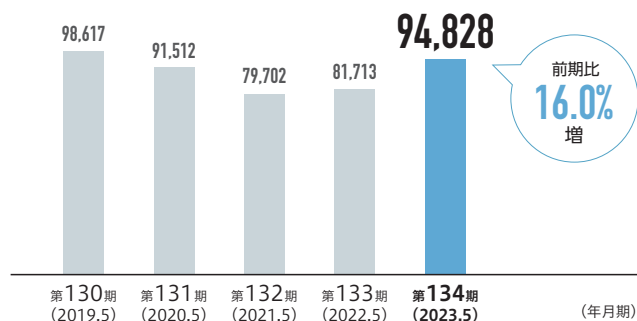
当期の配当金は、中間は35円を実施し、期末は20円とさせていただきます。来期については、中間・期末ともに1株当たり35円、年間70円とさせていただきます。

今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ハイライト

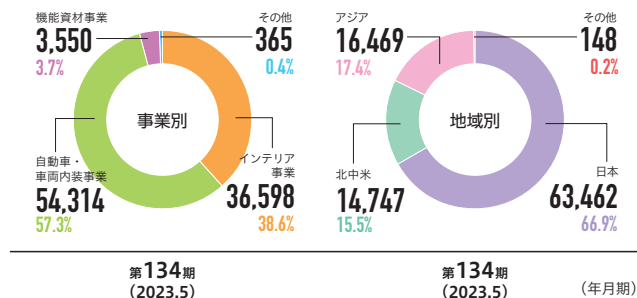
売上高

(単位:百万円)



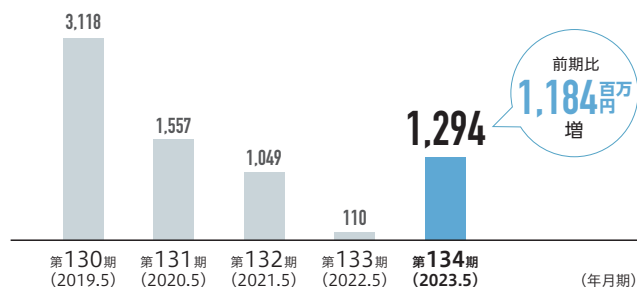
売上高構成比

(単位:百万円)



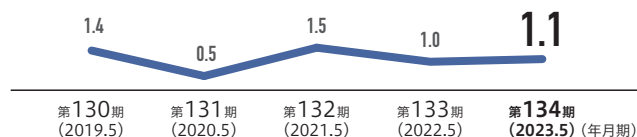
営業利益

(単位:百万円)



ROE(自己資本利益率)

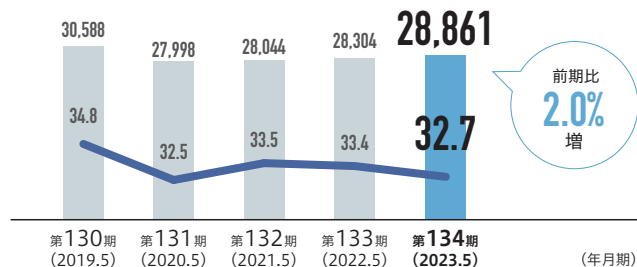
(単位:%)



自己資本・自己資本比率

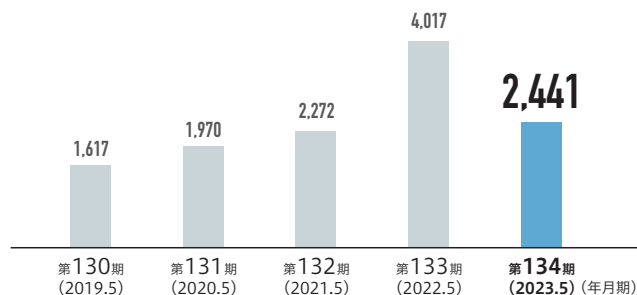
(単位:百万円)

(単位:%)



設備投資

(単位:百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期 2022年5月31日現在	当期 2023年5月31日現在
資産の部		
流動資産	46,749	48,880
現金及び預金	8,150	7,079
受取手形、売掛金及び契約資産	13,816	15,814
電子記録債権	6,171	7,385
棚卸資産	15,621	15,923
その他の資産	2,989	2,677
固定資産	38,051	39,271
資産合計	84,801	88,151
負債の部		
流動負債	35,046	36,008
固定負債	16,306	18,029
負債合計	51,352	54,037
純資産の部		
株主資本	19,711	19,458
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,626	2,611
利益剰余金	11,480	11,207
自己株式	△ 3,949	△ 3,913
その他の包括利益累計額	8,593	9,403
非支配株主持分	5,144	5,251
純資産合計	33,448	34,113
負債純資産合計	84,801	88,151

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 2021年6月1日から 2022年5月31日まで	当期 2022年6月1日から 2023年5月31日まで
売上高	81,713	94,828
売上原価	64,543	75,399
売上総利益	17,170	19,428
販売費及び一般管理費	17,059	18,133
営業利益	110	1,294
営業外収益	1,155	911
営業外費用	316	631
経常利益	950	1,575
特別利益	652	260
特別損失	101	386
税金等調整前当期純利益	1,501	1,449
法人税等合計	803	662
当期純利益	698	787
非支配株主に帰属する当期純利益	417	466
親会社株主に帰属する当期純利益	281	320

連結キャッシュ・フロー計算書

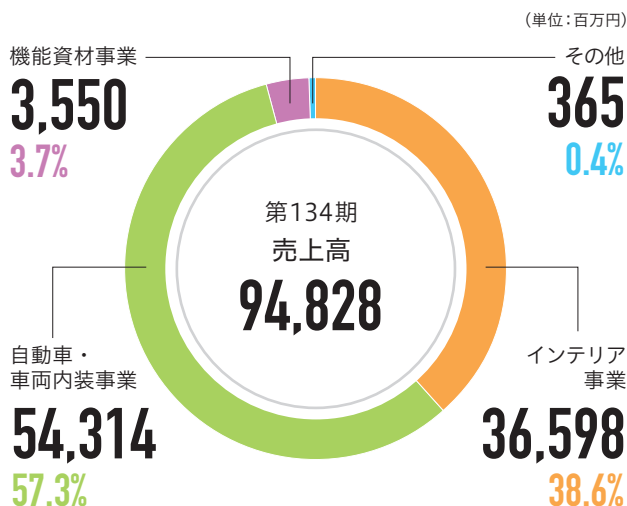
(単位:百万円)

科目	前期 2021年6月1日から 2022年5月31日まで	当期 2022年6月1日から 2023年5月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	375	1,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,191	△ 2,834
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,074	△ 52
現金及び現金同等物に係る換算差額	104	42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 2,786	△ 1,040
現金及び現金同等物の期首残高	10,756	7,970
現金及び現金同等物の期末残高	7,970	6,929

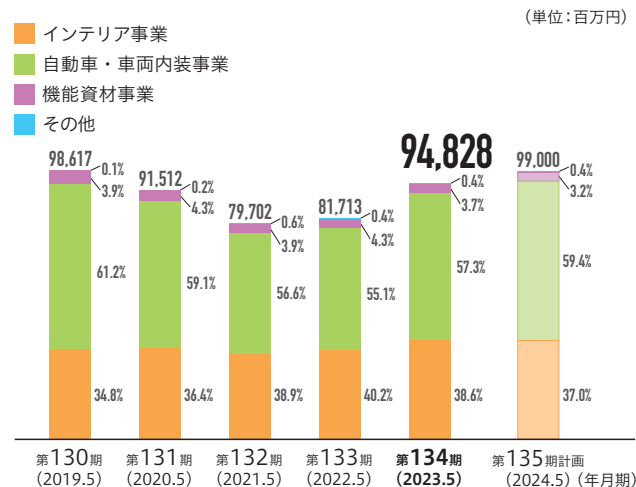
事業概況

セグメント別の概況をご報告申し上げます。

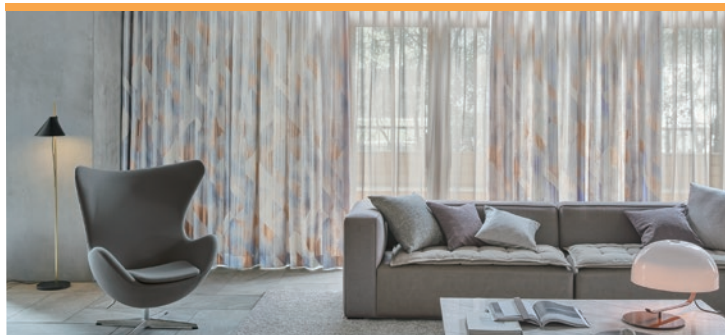
事業別売上高構成比



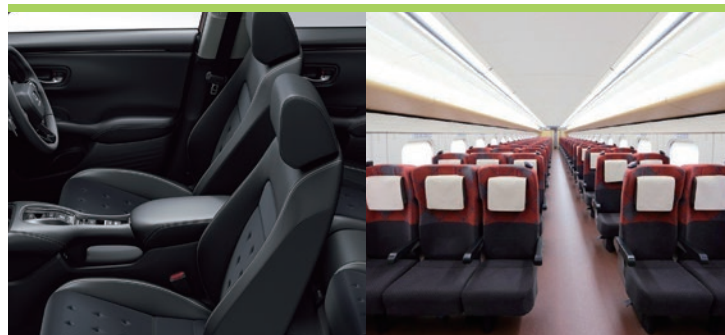
事業別売上高推移



インテリア事業



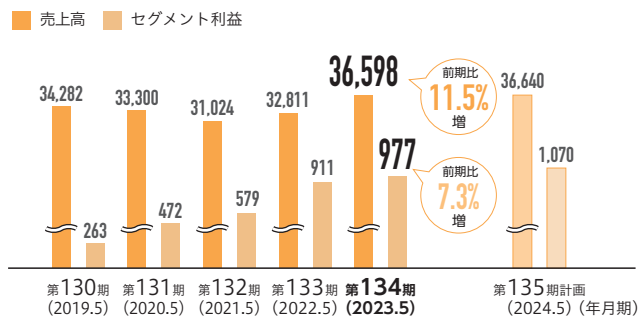
自動車・車両内装事業



機能資材事業



売上高／セグメント利益 (単位:百万円)

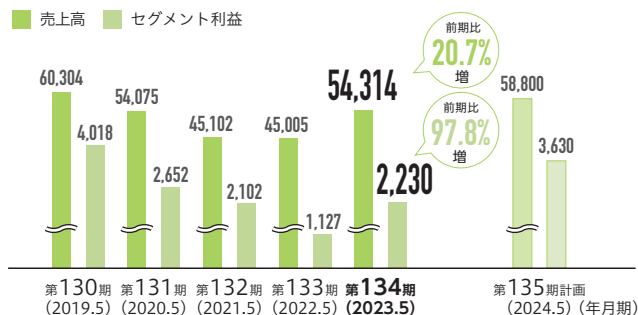


当期の業績

家庭用カーペットはコロナ禍での需要反動影響を受けましたが、業務用カーペットは大型物件受注で伸長し、スペースデザインにより売上に寄与しました。また、壁装関連も、価格改定効果などから堅調に推移しました。

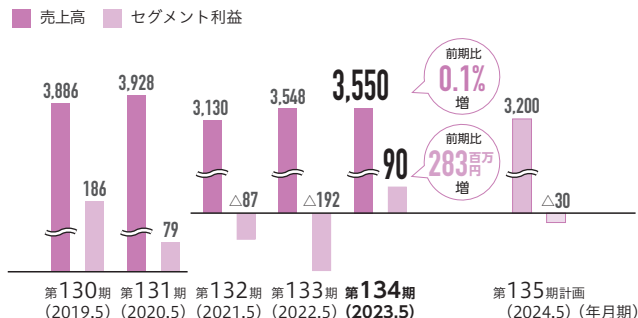
来期の見通し

「ECOS® (エコス)」などの環境対応型製品や優れたデザインに高機能と高品質をプラスした製品の拡販に努めるとともに、適正価格での取引、スペースデザインビジネスの強化・拡充、伝統の力を加えた総合力でニーズに対応していきます。



自動車生産台数の回復と為替も寄与し自動車関連売上は増加しました。車両関連も鉄道リニューアル工事やバス向け内装材の需要が回復へと転じました。利益面は、適正価格での取引が少しずつ浸透し、北米子会社の事業構造改革も奏功しました。

自動車関連は、メキシコに合成皮革製造工場を新設することでマーケットのさらなる拡大を図り北中米拠点の事業強化につなげます。車両関連では、今後も製造拠点との連携による意匠性向上と高機能商材の開発に取り組み、付加価値の創出を継続します。



繊維系暖房商材は、新規受注数は減少したものの、原材料価格高騰や輸入コストアップによる価格改定効果が奏功し、浴室床材も好調に推移しました。また、海外工場の再編が前期で完了したことも寄与しました。

2023年5月期の市況低迷の影響を受け、繊維系暖房商材の新規受注数が減少する計画ですが、最適生産体制の高度化を促進し、生産効率向上を目指すとともに、SUMINOE GROUPの連携強化により、新しい価値の創造にも挑戦し続けます。

特集 住江織物グループは「SUMINOE GROUP」へ

住江織物の創業から2023年で140年。さまざまなチャレンジやイノベーションのもと事業を拡大し、現在、国内外のグループ会社を合わせて30社となりました。「住江織物グループ」は「SUMINOE GROUP」へと改め、伝統と新たな力を融合することでシナジー効果を創出し、企業価値の最大化を目指しています。2022年7月にはブランディング推進「シン・ミライPROJECT」を立ち上げ、SUMINOE GROUPの強みや特長、社会や顧客のニーズを整理し、私たちにしか実現できないグループ理念を策定、2023年6月に発表するに至りました。



シーホースマークの意味

住江織物のロゴを活かすことで、伝統を引き継ぎ未来(前)へ胸を張って向かっていく様子をシンボル化。4つの光は、海のきらめきに重ねると同時に空間をつくる「4つの事業」、そして世界の四方へ広がる意味も兼ねています。

グループ理念

VISION

わたしたちの目指す未来

時代や地球と調和する「新しい快適のスタンダード」を織りあげ
よろこび広がる未来の暮らしをつくる。

MISSION

わたしたちが果たすべき使命

暮らしに寄り添う技術とアイデアで
人と社会にやさしい空間を
世界中へ。

SPIRIT

わたしたちが大切にしている価値観(社訓)

業界の先駆者としての誇りをもち、
和協、誠実、不屈の精神をつらぬく。

VALUE SUMINOE “4C” Values

事業活動の基本指針

Challenge

業界の先駆者としての高度な技術力と幅広い顧客基盤を礎に、新たな事業展開にチャレンジする。

Create

独自の技術を掛け合わせ、新しい価値を創造する。

Customer

顧客に誠実に寄り添う力と先見性をもとに、新たな課題を抽出し開発に活かす。

Contribute

人にも地球にもやさしいモノづくりをこれからも追求し続ける。

今後、このグループ理念をもとにインナーブランディングを進め、SUMINOE GROUPの力を結集した当社グループならではの技術・製品開発をもってあらゆる空間にイノベーションを起こしていくと同時に、幅広い世代で認知・理解・共感してもらえるようアウトタープブランディングも進め、企業価値の最大化および社会的価値と経済的価値の創出を目指していきます。

グループ理念策定に向けた取り組み



7月 プロジェクトの立ち上げ 第一回プロジェクトメンバー会議

事務局およびグループの中堅社員を中心に約25名で構成する「シン・ミライ PROJECT」の立ち上げ。社長座談会を実施し、「当社グループが社会で果たす役割」や、「当社グループらしさとは何か」をテーマに意見交換しました。

8月 第二回プロジェクトメンバー会議

「ブランド資源の棚卸し」をテーマに事前課題を設定し、当社グループが目指すべき方向性を議論。「VISION」「MISSION」「VALUE」がどのようなものになるか検討しました。

10月 第三回プロジェクトメンバー会議 全社アンケート・役員ヒアリングの実施

コンサルティング会社より改めてブランディングの意義や今後の進め方を説明。同時に、グループ理念策定にあたり、社内アンケートと役員ヒアリングを実施。アンケートは国内外の全グループ会社に展開しました。

アンケートで見たグループの強み

上位は歴史と実績による社会や顧客からの「信頼・信用」、次いで「地球環境を意識した活動と真面目なモノづくりマインド」、その次に「新しい価値をつくり、展開していく先見性」が続きました。

役員が考えるグループの強み

単に顧客に製品を提供するだけではなく、顧客とともに新しい価値を創造する「価値共創」のプロセスに強みをもち、それを“くらし”に展開していける顧客基盤が強みと認識しました。



11月 第四回プロジェクトメンバー会議

社内アンケートと役員ヒアリングから見てきた強みや特長を構造的に整理するとともに存在意義や世の中に提供したい価値を発想し、グループ理念のベースとなる言葉を可視化するためのワークショップを開催しました。

メンバーが考えるグループの強み

- 先見性で新たな価値を生み出す技術力・開発力
- 140年の歴史と実績で積み上げた信頼
- 身近な空間から人と地球に快適なくらしをつくる使命感

メンバーが考えるグループの提供価値

- 顧客や生活者と「社会的価値」を共創し、社会ニーズに応え続け、共創の好循環をつくり出している
- 部門を越えたシナジーを生むことで今までにない技術と製品で新たな価値を創造し、「機能的かつ快適な空間そのもの」で社会を支える
- 培ってきた技術とノウハウ・信頼・顧客との関係性という独自の強みを活かし、空間創出という領域で新たな価値を創出する。その結果、人々のくらしの質を向上させる



11月 第五回プロジェクトメンバー会議

グループ全体を象徴するシンボルマークのプロトタイプを作成し、ワークショップにて意味づけを行い、ストーリーとともにグループ統一ロゴおよびタグラインを検討。2023年6月に発表しました。

トピックス



インテリア事業

水平循環型リサイクルタイルカーペット
「ECOS®(エコス)」受賞と新シリーズ発売

当社は2011年、従来埋立処分されてきた使用済みタイルカーペットを新しいタイルカーペットのバックング材(裏材)へと再生する「ECOS® Recycle System」を構築し、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」を発売しています。2022年、この取り組みが評価され、『令和4年度資源循環技術・システム表彰』経済産業省産業技術環境局長賞を受賞しました。

2023年3月には、より再生材比率を高めた新シリーズ「ECOS NEO™(エコス ネオ)」を発売しました。ECOS® バックング材に加えて、表面のパイルにリサイクルナイロンを使用した原液着色ナイロン糸を採用することで、国内最高水準の再生材比率81%、CO₂削減貢献率61%※を実現しています。

※ ECOS NEO™ EX の場合。2023年3月現在自社調べ。

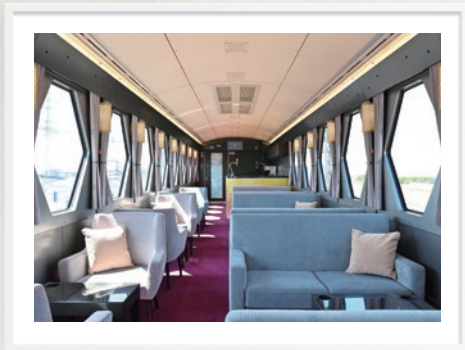
自動車・車両内装事業

日産「サクラ」・いすゞ「エルフ」に
当社の内装材が採用

当社の製品が、日産自動車初の軽EV車「サクラ」のシート材に採用されました。「サクラ」は見るたびに胸が高鳴る、日本の美を感じさせる洗練されたデザイン、思わず見惚れる上質に心ときめく、大人のプレミアム空間を謳う軽EV車です。シートのカラーミックスと新しい凹凸感を、独自の糸使いや編組織の工夫により表現し、さらに抗菌仕様や防汚機能も付加しました。

また、当期はいすゞの小型トラックのフルモデルチェンジが16年ぶりに行われ、「エルフ」のシート材として当社の製品が採用されました。モデルライフの長いトラックへの安定供給は、事業貢献度の高い受注となりました。





機能資材事業

健康食品「柿ダノミ」装い新たにリニューアル

「柿ダノミ」は、サステナブルな原料である奈良県産摘果柿を使用した柿渋(柿ポリフェノール含有)サプリメント(一般食品)で、2017年11月に販売を開始しました。

これまでの5年間でお客さまからいただいたお声をもとに、より多くの方に使用していただけるようパッケージを誰でも手に取りやすいデザインへ変更し、約7日分(14粒)・約30日分(60粒)の2種展開としました。包装形態を小袋入りのシュリンクフィルム包装からチャック付きアルミパウチへ変更したことにより、廃棄する包装資源が削減でき、環境負荷の低減にもつながります。

「住江織物セレクトショップ(<https://suminoe-bh.jp>)」などで販売していますので、ぜひお試しください。



自動車・車両内装事業

東武鉄道新型特急「スペースX(エックス)」に当社の内装材が採用

2023年7月15日に運行を開始した、浅草～日光・鬼怒川方面をむすぶ東武鉄道新型特急車両「スペースX」に当社の内装材が採用されました。

伝統と革新を感じさせるエクステリアの「スペースX」は1編成6両で4編成製造され、上質な個室やソファ席など、車両ごとに趣を変えたバリエーション豊かな全6種類の座席のシート地(モケット・織シート)とカーテン、カーペットを納入しました。

さまざまな内装材をトータルで提案できる強みを活かし、お客さまのご要望に合わせた車両開発に貢献していきます。



ガバナンス

役員（2023年8月30日現在）

取締役

代表取締役社長 永田 鉄平

代表取締役常務 薄木 宏明

常務取締役※ 丸山 敏朗

取締役※ 木村 栄一郎

取締役※ 村瀬 典久

社外取締役 清水 春生

社外取締役 野村 公平

社外取締役 種田 ゆみこ

社外取締役 澁谷 裕子

監査役

常勤監査役 市川 清一

社外監査役 園田 篤弘

社外監査役 片山 貴文

執行役員

上席執行役員 諏訪 和晃

上席執行役員 吉澤 朋宏

執行役員 瀬戸 貞弘

執行役員 河合 勝也

執行役員 福岡 正也

執行役員 川西 浩文

執行役員 高島 順浩

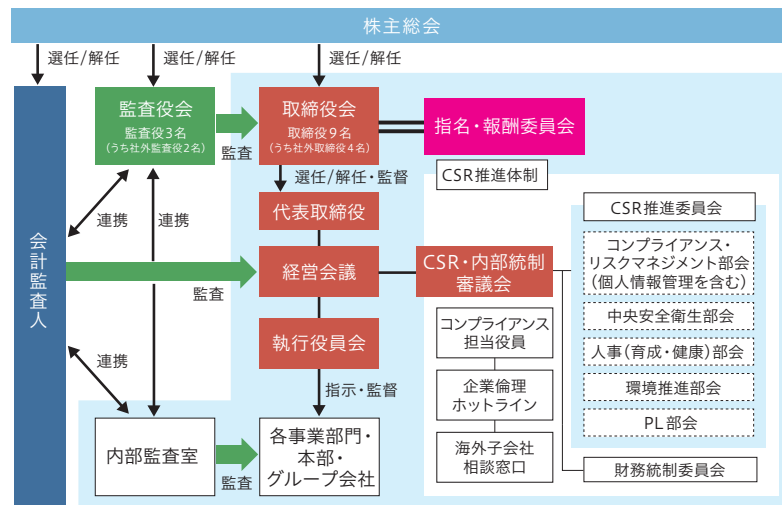
執行役員 松波 浩

執行役員 青山 雅一

執行役員 水野 明秀

※の取締役は上席執行役員を兼務します。

コーポレートガバナンスとCSR推進体制図



歩き回る経営

当社は、経営幹部と従業員が情報共有し、双方向コミュニケーションを図るために、129期（2018年5月期）より「歩き回る経営」を実践しています。役員（取締役・執行役員）が、SUMINOE GROUPの事業所や工場などを訪問し、各現地の従業員と意見交換を行っています。

2022年11月、同年に事業所再編が完了した奈良事業所で取締役会を開催しました。社外取締役も含めた取締役全員で工場見学および新規竣工した倉庫棟や技術開発センター棟を視察し、従業員と意見交換をしました。



株式情報

株式の状況

(2023年5月31日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式総数	7,682,162株
株主数	8,645名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社高島屋	924	14.58
日本生命保険相互会社	476	7.52
丸紅株式会社	366	5.78
林テレンプホールディングス株式会社	233	3.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	221	3.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託ユニチカ口)	178	2.82
住江織物従業員持株会	162	2.56
住江織物共栄会	159	2.52
東レ株式会社	129	2.05
明治安田生命保険相互会社	115	1.82

- ※ 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 2. 当社は自己株式(1,338,540株)を保有していますが、上記大株主からは除いています。
 また、持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

本報告書、株式に関するお問合せ先

住江織物株式会社 本社総務部

TEL : 06-6251-6801 FAX : 06-6251-0862

株主メモ

決算日	5月31日
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年5月31日 中間配当 毎年11月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 当社ホームページをご覧ください。 https://suminoe.co.jp/ir/

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
 URL <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>
 郵送物送付先 〒168-8507
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

証券会社の口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	口座を開設されている証券会社	
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿 管理人	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

特別口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座 管理機関	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿 管理人	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

※ 未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社、株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店でお取り扱いいたします。

会社情報

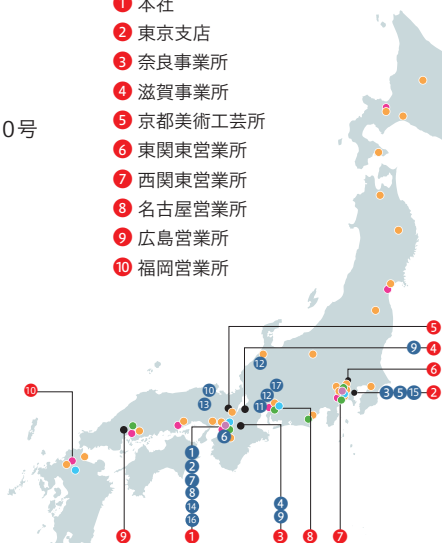
会社概要 (2023年5月31日現在)

会社名	住江織物株式会社 Suminoe Textile Co., Ltd.
URL	https://suminoe.co.jp/
本社所在地	〒542-8504 大阪市中央区南船場三丁目11番20号 TEL:06-6251-6801
創業	1883年(明治16年)
合資会社創立	1913年(大正2年12月25日)
株式会社設立	1930年(昭和5年12月26日)
資本金	95億54百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
従業員数	260名(連結2,779名)

国内グループ会社

住江織物(株)の事業所

- ① 本社
- ② 東京支店
- ③ 奈良事業所
- ④ 滋賀事業所
- ⑤ 京都美術工芸所
- ⑥ 東関東営業所
- ⑦ 西関東営業所
- ⑧ 名古屋営業所
- ⑨ 広島営業所
- ⑩ 福岡営業所



グループ会社

- ① 住江織物(株)
- ② (株)スミノエ
- ③ ルノン(株)
- ④ 住江物流(株)
- ⑤ (株)スミノエワークス
- ⑥ 関西ラボラトリー(株)
- ⑦ スミノエティジンテクノ(株)
- ⑧ 丸中装栄(株)
- ⑨ 住江テクノ(株)
- ⑩ 丹後テクスタイル(株)
- ⑪ 帝人テクロス(株)
- ⑫ 尾張整染(株)
- ⑬ (株)ソーイング兵庫
- ⑭ インテック(株)
- ⑮ (株)シーピーオー
- ⑯ (株)プレテリアテキスタイル
- ⑰ 関織物(株)

各事業の営業拠点

- インテリア
- 自動車内装
- 車両内装
- 機能資材
- スミノエ ショールーム

海外グループ会社

- ① Suminoe Textile of America Corporation
- ② Bondtex, Inc.
- ③ Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.
- ④ 住江互太(広州)汽車繊維製品有限公司
- ⑤ 蘇州住江小出汽車用品有限公司
- ⑥ 住江織物商貿(上海)有限公司
- ⑦ 蘇州住江織物有限公司
- ⑧ T.C.H. Suminoe Co., Ltd.
- ⑨ Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd.
- ⑩ PT. Suminoe Surya Techno
- ⑪ PT. Sinar Suminoe Indonesia
- ⑫ Suminoe Teijin Techno Krishna India Pvt. Ltd.
- ⑬ Suminoe Textile Vietnam Co., Ltd.

